

英語科公開授業学習指導案

指導者 職・氏名 教諭・日笠山 万希子

指導日時・教室 令和5年11月15日(水) 5限目 教室名 3年1組
 対象生徒・集団 地域未来探究 科 3年(次)生 25人
 科目名 英語表現Ⅱ (単位数 2)
 使用教科書 Vision Quest, Hope (出版社名 啓林館)

1 単元名 Disaster Prevention (防災) ～自分(たち)の命は自分(たち)で守る～

2 本時の指導と評価の計画 (第3時)

(1) 本時のねらい

- ①各自が作成した新生活向け「マイ防災マップ」について、英語で説明することができる。
- ②周りに存在しうる「災害弱者」にも目を向け、日頃から関係性の土台作りができる。
- ③「自分(たち)の命は自分(たち)で守る」という意識を強く持つことができる。

(2) 準備・資料等 「わがまちハザードマップ」「まもるいのち ひろめるぼうさい」など

(3) 本時の展開

過程時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 5分	本時の確認	●本時の確認	○防災マップ作成の目的と本時のめあてと発表時の留意点について伝える。	【関心】教師の説明にしっかりと耳を傾け、メモを取ることができる。
展開 35分	各自作成の「マイ防災マップ」をグループ内で発表する。 発表内容に対する感想や質問を伝える。	●各自作成の「マイ防災マップ」をグループ内で発表する。 ●発表を聞きながら、シートにメモを取る。 ●発表終了後、一言コメントや質問を考え、発表者と共有する。	○タイマーで時間を計測しながら、各自発表する。 ○発表内容 ・新生活(場所)の紹介 ・想定される災害 ・災害発生時間帯 ・安全な避難方法 ・その他:身近な災害弱者 ○一言コメントや質問作成には翻訳アプリ等使用可。 ※新生活の場所は個人情報も絡むため、慎重に扱う。 ※活動が滞っている場合は支援する。	【関心】「マイ防災マップ」を完成させている。時間内に発表することができる。 【表現】発表の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えることができる。 【理解】発表を聞いて、内容を理解することができる。 【言語】既習の文法表現も取り入れながら、発表する。また、英語特有の音も意識して、聞き手が聞きやすい音量・ペース・発音で発表することができる。
終末 10分	本時のまとめ 振り返りシート記入	●まとめを聞く。 ●振り返りシートに記入する。	○本時を振り返り、まとめる。 ※よかった点、達成できた点について触れ、褒める。	【言語】全体的な取り組み状況(マイ防災マップ・発表・メモ・アンケート・態度等)を確認、評価する。